



エコアクション21
認証・登録番号0000666

2013 年度版

エコアクション21

環境活動レポート

＝太陽光発電取り組みの推移＝



2013年11月

若松城（鶴ヶ城）

環境と化学のコーディネーター

ソーダニツカ株式会社

本社:東京都中央区 支社:大阪市北区
支店:札幌 仙台 名古屋 広島 高松 福岡

目 次

ご挨拶	1
環境方針	2
1. 事業の概要	3
2. “太陽光発電取り組みの推移”について	5
3. 2012 年度の環境活動	5
(1) 環境目標達成状況とその評価	5
－ 化学物質の管理（ケミカルセンター）	11
－ 営業部門の環境貢献活動	14
－ 地域の環境保全活動への参加	17
(2) 環境関連法規等の遵守状況	20
(3) 代表者による全体の評価と見直し	21
4. 2013 年度の環境目標と活動計画	21
5. おわりに	22
6. 当社の環境管理組織	23
編集後記	24

表紙の写真について

「若松城」は地元では一般的に「鶴ヶ城」と呼ばれ、戊辰戦争の際に会津勢が1か月立てこもった会津戦争（慶応4年/明治元年）で、NHK大河ドラマ放映もあり有名となりました。

現在の城は、昭和40年に鉄筋コンクリート造りで再建されたものです。

（撮影 仙台支店・赤間成剛 2013年5月）

ご挨拶

現在、世界的に環境問題がクローズアップされており、環境を無視して会社経営は考えられません。「環境と化学をコーディネートし、社会に貢献する」を標榜する当社としては、地域社会を含めた全ての皆様の信頼を得るために、環境保全に力を入れて活動していく所存です。



21世紀は環境の世紀と言われているように、地球環境保全に関する取り組みが世界規模で広がりを見せ、さまざまな分野で活動がなされています。近年、地球環境の危機が一層強く叫ばれるなか、限りある地球資源を取り扱う当社もまた、企業としての責任がますます重くなってきており、この地球環境への配慮なくしては、社会的信頼も得られず、存続することができないものと考えています。

このような背景から、当社は2005年に「エコアクション21」を認証取得し、ガイドラインに沿って環境活動を推進してまいりました。具体的には、電気や紙使用量の削減・ゴミの分別回収など事務所内での地道な取り組みのほか、営業車をハイブリッド車に切り替えてガソリンの使用量削減などに努めてまいりました。

また、商社ならではの取り組みとして、営業活動において環境テーマを商材として取り上げ、「環境と化学のコーディネート」に心掛け、着実に成果を上げてまいりました。そのような機運の高まりから、当社はソーラーフロンティア社との販売契約を契機に太陽光パネルの販売に力を注ぐようになり、当社の業績アップにも大きく貢献しています。

今後も、当社が掲げる環境方針に基づいて、「信用を第一」に「社会に貢献する」企業であり続けるために、社員一人ひとりの意識を高め、環境負荷の低減活動を継続させてまいります。

2013年11月

代表取締役社長

長洲 崇彦

ソーダニッカは、化学品専門商社として日本の基礎産業である化学工業にたずさわっており、化学工業薬品、合成樹脂原料・製品、産業用機器類の販売を行っている。また、主力薬品については、安定供給策として保管業務も行っている。

これらの事業をグローバルに展開する企業として、企業理念に掲げる『信用を第一』『社会に貢献する』企業でありつづけるために、地球環境保全への取組みをソーダニッカにおける最重要課題と位置づける。

環 境 方 針

ソーダニッカ株式会社は、企業経営を通じて地球環境へ配慮していくことを目的に、以下のことを実施していきます。

1. 事業活動を通じた地球環境保護への取組み

企業経営において環境負荷の低減に積極的且つ継続的に取組んでいくために、自ら定めた目標に向かって全社員が自主的に行動する。また、営業活動においては環境負荷の少ない商品・技術・サービスを社会に提供するとともに、ケカセンターにおいては安全管理と環境保全に努めていきます。

2. 資源・エネルギーの効率的利用

資源・エネルギーの消費や廃棄物の排出状況等をチェックし、環境への負荷を常に認識し、Reduce(廃棄物削減)、Reuse(再使用)、Recycle(再利用)、新エネルギー等の活用、グリーン購入に取組みます。

3. 環境関連法規の遵守

関連する環境法規制・基準及びその他の同意する要求事項を遵守します。

4. 継続的環境改善への取組み及び地域社会との共生

環境保全に関する目標を設定し、取組み結果を見直すなど継続的な環境改善に取組むとともに、地域社会との共生を実践するために社会貢献活動に積極的に参加していきます。

5. 環境活動の定着と環境情報の公表

全従業員に対して、この環境方針の周知徹底を図るとともに、環境教育を計画的に行い、環境保全活動の定着、向上に努めます。また、環境行動計画及びその実施状況並びに環境関連情報については『環境活動レポート』に取りまとめて公表します。

更新履歴

2005年4月1日 制定
2008年4月1日 更新
2011年4月1日 更新
2012年5月2日 更新

2012年5月2日
ソーダニッカ株式会社
代表取締役社長 長洲 崇彦

1. 事業の概要

企 業 名 ソーダニッカ株式会社 [URL:http://www.sodanikka.co.jp](http://www.sodanikka.co.jp)
本社所在地 東京都中央区日本橋 3-6-2 日本橋フロント 5F
代 表 者 取締役社長 長洲 崇彦
創 立 1947 年 4 月 1 日
資 本 金 37 億 6,250 万円（2013 年 10 月 1 日現在）
 （東京証券取引所 第一部上場）

◆環境管理組織

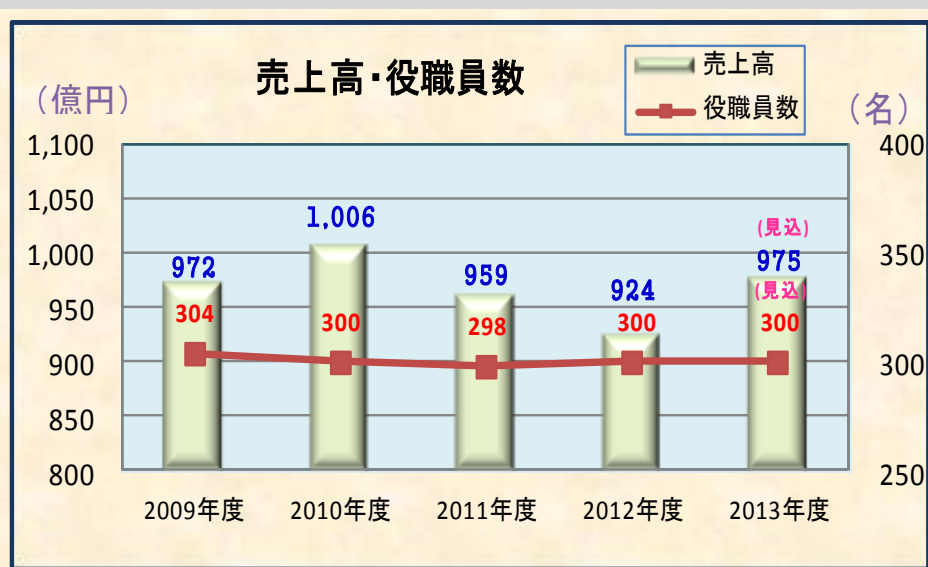
環境責任者 執行役員業務部門長 石田 勤
担 当 部 署 ソーダニッカ EMS 委員会 事務局
環境担当者 江幡 光隆（事務局・総括担当）
連 絡 先 電話 03-3245-1818 FAX 03-3245-1869
 E-mail: m-ebata@sodanikka.co.jp

事業内容

化学品専門商社として、全国 12 カ所に事業所を配置し、主として化学工業薬品、石油化学製品、合成樹脂原料及び加工製品、電子材料、産業用機器等の仕入・販売を行っています。

また、主力化学品については、取引先への安定供給を目的として国内 4 カ所にケミカルセンターを保有しています。

◆事業規模（売上高と役職員数の推移）（2013 年 3 月 31 日現在）



◆Ecoアクション 21 認証登録の対象範囲

◆事業規模 (2013 年 8 月 5 日現在)

1. オフィス (賃借)

	床面積 (㎡)	役職員数 (人)
本社 (東京)	2,014	183
静岡営業所	204	11
大阪支社	446	26
札幌支店	271	11
苫小牧営業所	57	3
仙台支店	182	12
名古屋支店	255	12
広島支店	143	10
高松支店	235	11
三島営業所	166	3
福岡支店	334	12
宇部営業所	129	4

※本社 2013 年 8 月 5 日 5F ワンフロア化

※役職員数は 4 月 1 日現在

* 赤字は昨年から変更点

全国 12 カ所の事業所

本 社 (東京)
静岡営業所
大 阪 支 社
札 幌 支 店・苫小牧営業所
仙 台 支 店
名 古 屋 支 店
広 島 支 店
高 松 支 店・三島営業所
福 岡 支 店・宇部営業所

●は事業所
●はケミカルセンター

ケミカルセンター

釧 路 ケミカルセンター
七ヶ浜 ケミカルセンター
富 士 ケミカルセンター
広島大野 ケミカルセンター

◆事業規模 (2013 年 4 月 1 日現在)

2. ケミカルセンター (社有)

* 赤字は昨年
から変更点

	事務所 (㎡)	役職員数 (人)	敷地 (㎡)	倉庫 (㎡)
釧路ケミカルセンター	75	4	7,770	—
七ヶ浜ケミカルセンター	84	4	10,040	1,011
富士ケミカルセンター	204	11	4,070	827
大野ケミカルセンター	117	8	2,612	264

2. "太陽光発電取り扱いの推移"について

・太陽光発電パネル販売取り組み

当社は工業薬品を中心に、合成樹脂原料、プラント等を取り扱う専門商社です。

2009 年：太陽光発電パネルの取扱い開始

2010 年：5 月広島大野ケミカルセンターに実証用 4.59kW 太陽光発電パネルを設置

2011 年：太陽光発電パネルの販売強化、他社製品を含め実績化進展

2012 年：第 3 四半期より販売が本格化

3. 2012年度の環境活動

2012 年度は 2010 年度を基準とする 3 ヶ年計画の 2 年目

- ・電 力：2011 年度が**新基幹系システム**への移行による新旧併用稼働で使用量が**増加**したのに対し、2012 年度は**同システム**への移行が完了し、使用量は**落ち着き**ました。しかし、名古屋支店が 5 月に入居ビルの建て替えのため転居し、増床・空調・共有部分増で、約 **3 倍の増加**となりました。
- ・ガソリン：社有車のハイブリッド車へ切替えが一巡し、使用頻度減少より使用量が**減少**しました。
- ・コピー用紙：2011 年度は**新基幹系システム**への切り替え対応で**大幅増**、2012 年度は、落ち着いて使用量が**減少**しましたが目標には達しませんでした。
- ・営業課題：太陽電池モジュールの販売件数が増加しました。

(1)環境目標達成状況とその評価

環境目標

1. 二酸化炭素排出量の削減

全事業所から排出する二酸化炭素は、2012 年度は基準年度（2010 年度）

2.0%削減とする。

＜2012 年度削減目標＞ 基準年度（2010 年度）比で事務所毎に目標を定める。

【二酸化炭素】全事業所発生量の **▲2.0%**とする。（※1）

【電 力】全事業所使用量の **▲2.0%**とする。

【ガ ソ リ ン】全事業所使用量の **▲2.0%**とする。

二酸化炭素排出量は**オフィス（事務所）**と**ケミカルセンター（物流基地）**に分けて管理しています。

（※1）電力 CO₂ 排出係数（単位：kg-CO₂/kWh）は 2007 年の各電力会社の数値を使用しました。

- ・ 北海道電力 0.517 東北電力 0.473 東京電力 0.425 中部電力 0.470 関西電力 0.366
- 中国電力 0.677 四国電力 0.392 九州電力 0.387
- ・ 他石油製品の CO₂ 排出係数は「EA21 ガイドライン 2009 年版」の数値を使用

2012 年度 全社二酸化炭素排出量

【目標】 474 t-CO₂ △2.1%（2010 年度比）

【結果】 473 t-CO₂ △2.2%（2010 年度比）（達成）

全社二酸化炭素排出量推移



☆ 全社二酸化炭素排出量 = 事務所 + ケミカルセンター 二酸化炭素排出量の合計

事務所（割合 62%） 292 t-CO₂ △5.2%（2010 年度比）

【二酸化炭素】

ケミカルセンター（割合 38%） 181 t-CO₂ +2.8%（2010 年度比）

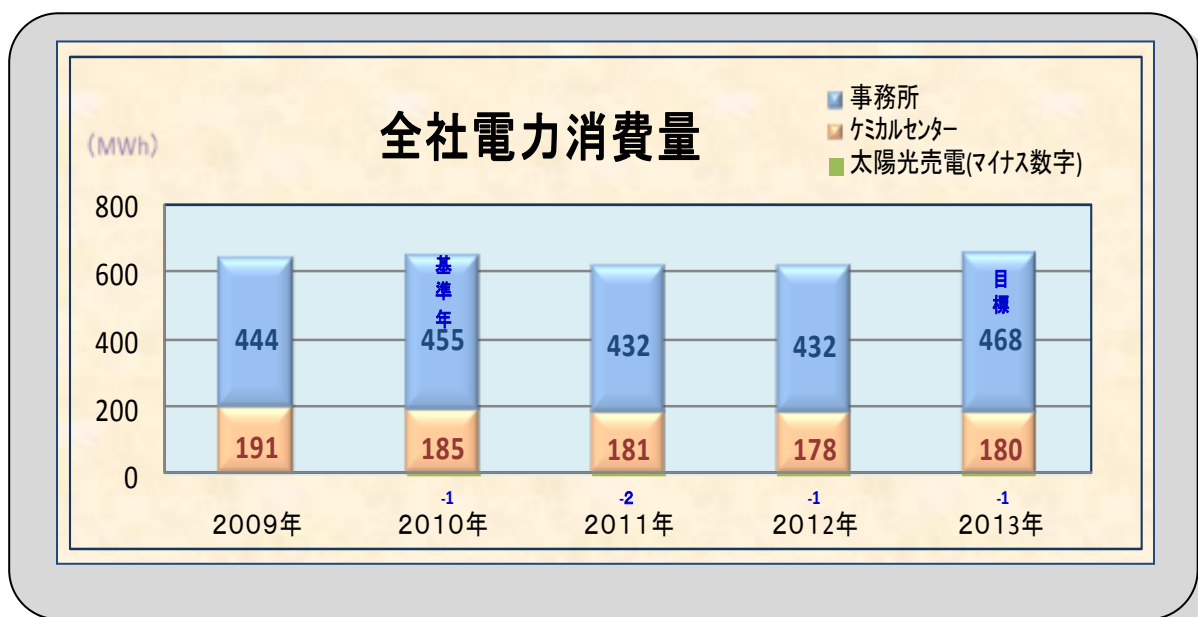
要因： 本社は 2011 年の電力制限令の流れで省エネ対策が進む一方、名古屋支店は 2012 年度 5 月の事務所移転による増床等で電力使用量が増加しました。

2012 年度 全社電力消費量

【目標】 628MWh △2.0%（2010 年度比）

【結果】 610MWh △4.7%（2010 年度比）（達成）

※基準の変更：名古屋支店・空調用電力を追加しました。



☆ 全社電力使用量 = 事務所 + ケミカルセンター

事務所 (割合 71%) 432 MWh △5.1% (2010 年度比)

ケミカルセンター (割合 29%) 178 MWh △3.9% (2010 年度比)

要因： 2011 年の「電力使用制限令」による削減対策を 2012 年も継続しました。
しかし名古屋支店は移転で電力使用量が大幅に増加しました。

☆ 大野ケミカルセンター 太陽光発電量 (2012 年 4 月 1 日～2013 年 3 月 31 日)

累計発電量 5,999 kWh 累計売電量 1,479 kWh

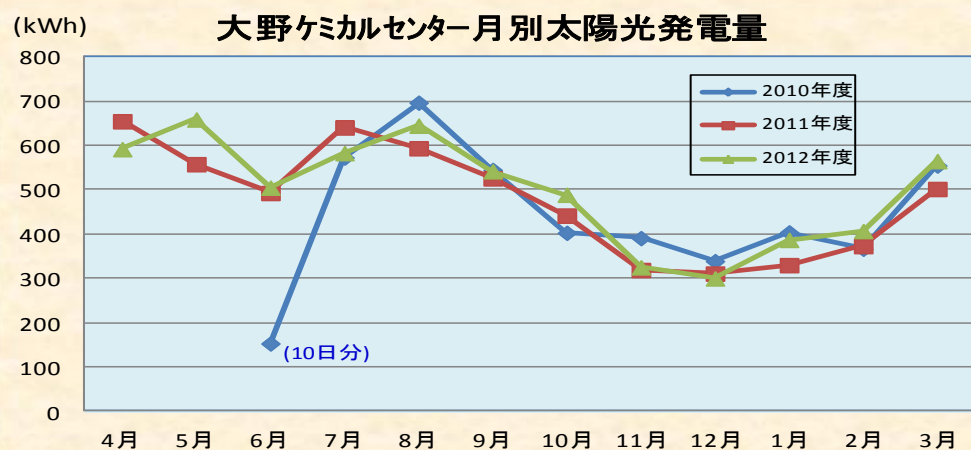
CO₂換算量 4.1 t-CO₂

【設置】 2010 年 5 月 末日 【場所】 大野ケミカルセンター (広島県廿日市市)

【能力】 4.59kW 【製品】 ソーラーフロンティア(株)製 CIS 系

【電力会社】 中国電力(株) *CO₂ 排出係数 0.677t-CO₂/kWh (2007 年度)





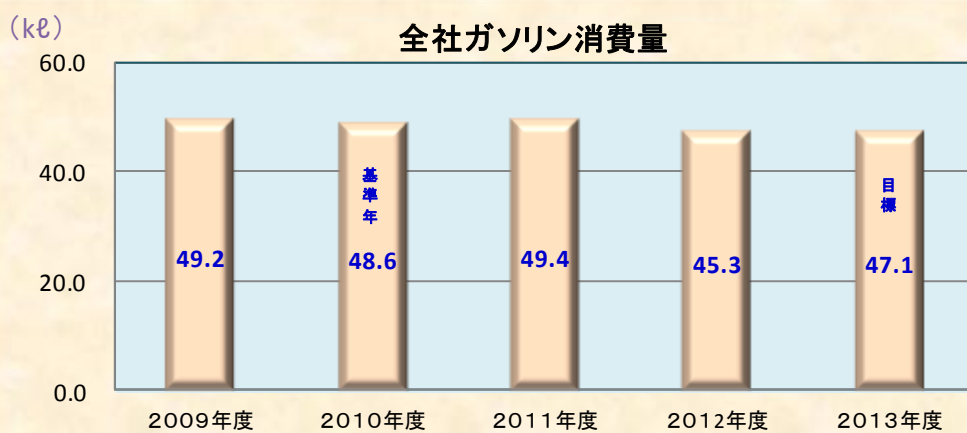
☆ **太陽光発電量**

・月別発電量 ・**8月最大** 冬場の発電量は夏場の約半分程度

2012年度 全社有車ガソリン消費量

【目標】 **47.6** キロリットル $\Delta 2.0\%$ (2010年度比)

【結果】 **45.3** キロリットル $\Delta 6.8\%$ (2010年度比) (**達成**)



要因：全社有車の**ガソリン消費量**は、各事業所において、ハイブリッド車への切り替えが一巡しましたが、業務での使用控えにより**減少**となりました。

2. 紙使用量削減と再資源化の取組

(1) 2012年度の紙使用量については2010年度比**2.0%**削減する。

コピー用紙は、全事業所、全量「環境配慮型製品」とする。

※「環境配慮型製品」とは、当社「グリーン調達ガイドライン」を満たした商品とする。

(2) 排出する紙資源は種類ごとに計量し、リサイクルに供する。

(3) 機密を含む長期保存書類は、100%リサイクルに供する。

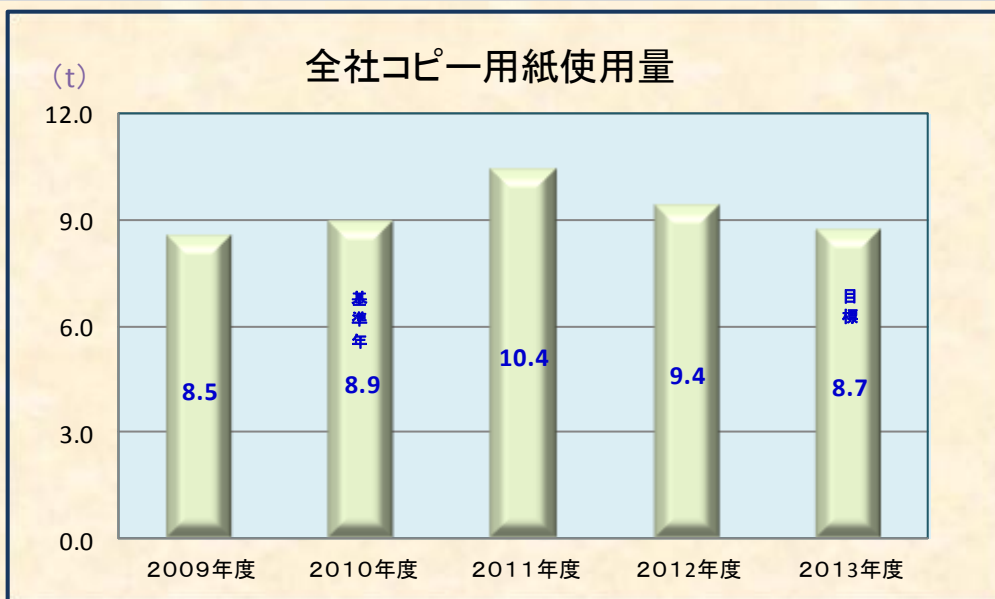
<2012年度目標> 2010年度比で事業所ごとに目標を定める。

【紙使用量】全事業所として2010年度比**2.0%**削減とする。

2012年度 全社コピー用紙使用量

【目標】 **8.7 t** $\Delta 1.0\%$ (2010年度比)

【結果】 **9.4 t** **+5.6%** (2010年度比) (**未達**)

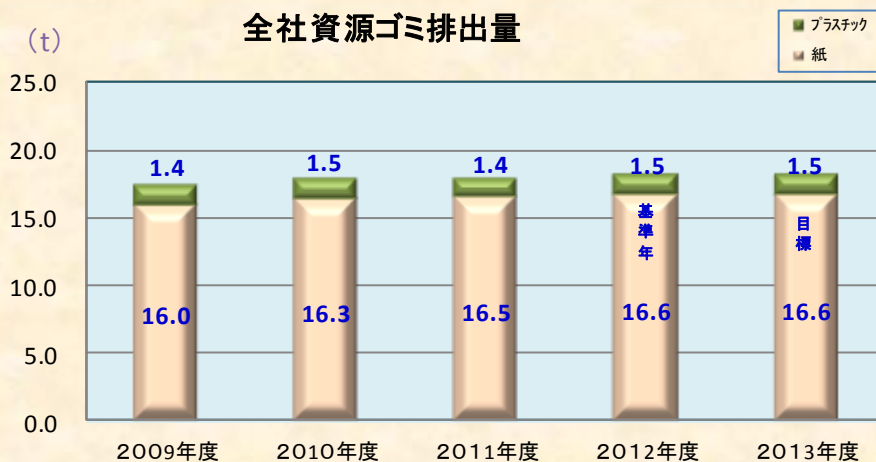


要因：コピー用紙は、2011年4月からの新基幹系システム導入により、一時的に使用量が増加しましたが、2012年度は同システムが定着し減少に転じました。

3. 廃棄物削減と分別回収

(1) 排出する一般ゴミは分別・計量し、再資源化、削減に努める。

(2) プラスチック類は計量し、再生可能なものはリサイクルに供する。



2012 年度 全社資源ゴミ排出量

【目標】 17.9 t ±0.0% (2011 年度比)

【結果】 18.1 t +1.1% (2010 年度比) (未達)

【資源ゴミ】

紙資源 (割合 92%)	16.6t	+0.6% (2011 年度比)
プラスチック (割合 8%)	1.5t	+7.1% (2011 年度比)

要因：コピー用紙使用増で、紙資源排出量もやや増加しました。

長期保存書類は、全ての事業所でリサイクル処理に出しました。

4. 節水と排水管理

- (1) 賃借オフィス(事務所)においては、ビル管理会社等と協力して節水に取り組む。
- (2) ケミカルセンター、自社オフィスでは、製品希釈用水と生活水を区分管理し、生活水は前年実績以内に使用量を抑える。
- (3) ケミカルセンターは、水質汚濁防止法の特定施設基準（非該当）を自主基準として管理し、排水量を把握する。

【結果】 ケミカルセンター生活水使用量 1,153t 前年比 +106t
 ケミカルセンター排水量 1,549t 前年比 +200t

要因：2012 年度の生活水使用量・排水量は、設備メンテナンス用で増加となりました。

5. グリーン購入

- ・印刷物、事務用箋、封筒、名刺などは環境配慮型製品を使用する。

【結果】グリーン購入はガイドラインに従って管理しております。

コピー用紙その他オフィスで使用する文具は、グリーン調達ガイドラインに則り購入しました。

【全体評価】

オフィス電力	2012 年度の消費電力は、前年導入した新基幹系システムが定着し、残業等の減少により増加が抑えられましたが、名古屋支店の5月移転による空調等の追加で前年比横ばいになりました。
ガソリン消費	ハイブリット車への切替が一巡し、ガソリン消費は抑え目となりました。
コピー用紙消費	新基幹系システムの定着によりコピー用紙の使用量は前年比で減少しましたが、対基準年度としては超えました。
廃棄物と分別	紙ゴミ・プラスチックゴミ共に排出量はほぼ横ばいとなりました。 2012 年度は、産業廃棄物と溶解処理数量も管理項目としました。
節水と排水	オフィスの節水はビル管理会社と協力し取り組んでいます。 ケミカルセンターでは無駄な洗車や散水を止めています。
グリーン購入	コピー用紙は「グリーン調達ガイドライン」に則り環境配慮型製品を使用しています。

6. 化学物質の管理（ケミカルセンター）

- (1) 化学物質の管理は、社内規程（手順、管理基準等）に従って行う。
- (2) ケミカルセンターでは、防災マニュアル等に従い、環境保全、災害防止に努める。

ケミカルセンターの管理は、毎月の**安全会議**、年一回の**防災訓練**で周知されています。秋口に本社及びケミカルセンターの関係者が一堂に会した**全国物流管理者会議**を実施し、安全面や設備面、コンプライアンス等の問題点を話し合い、情報の共有化を行い、事故防止に努めています。

☆☆☆ ケミカルセンターの化学物質 ☆☆☆

・物流基地（ケミカルセンター）

当社は**毒劇物**^{*1)}の船受け可能な物流基地を全国（釧路・七ヶ浜・富士・大野）４ヵ所に設置し、全国の物流の一翼を担っております。

安全面に関しても構内や輸送上での事故防止のため、定期的な安全会議や防災訓練、全国物流管理者会議を実施して、安全管理教育の徹底を図っています。

^{*1)}毒劇物：「毒物及び劇物取締法」で規制される**毒性や腐食性が強い化学物質**

ケミカルセンターで扱う主な**薬品**を紹介いたします。

去年は**カ性ソーダ**（水酸化ナトリウム）、**塩酸**、**硫酸**を紹介しましたので、本年は、一般物である**次亜塩素酸ソーダ**と**塩化カルシウム**をご紹介します。

＜次亜塩素酸ソーダ＞塩素とカ性ソーダ液との反応で製造されます。用途は製紙・天然繊維の漂白や、水道の殺菌等です。化合物は不安定で熱により分解します。また酸と反応して塩素ガスを発生しますので取扱いに注意を要します。

＜塩化カルシウム＞目的生産物と言うより副生物の精製で製造されます。用途は防塵、冷媒、融雪剤等に使用されます。液体品、固形品があります。

☆☆☆ ケミカルセンターの防災訓練 ☆☆☆

釧路ケミカルセンター

＜2012年8月30日(水)＞ 見学：所長・他1名

＜想定＞ 地震により**油**が海に**流出** ※釧路西港

＜対処＞ 事故発生 → 油流出 → 回収 → 拡散



<2012 年 10 月 10 日(水)> (構内) : 所長・他 4 名、運送業者 3 社・10 名

<想 定> 一般道で**酸性ソーダ** ロリー車への追突事故、**薬液漏洩**

<対 処> 事故発生 → 移動 → 状況確認 → 連絡 → 拡散防止 → 中和

<総 評> 大量漏洩の場合、中和剤が不足。また車載物への保険付保内容が不明。



事故確認



中和回収

七ヶ浜ケミカルセンター

<2012 年 10 月 24 日(水)> (構内) 支店長・他 4 名、運送業者 3 社 7 名

<想 定> **酸性ソーダ** ロリー車積み込み時、マンホールからオーバーフロー

<内 容> 漏洩 → 停止処置 → 回収 → 連絡

<総 評> 漏洩時の拡散が早いため、土嚢より直接散布が良いと思いました。



拡散防止



洗浄

挨拶

富士ケミカルセンター

<2012 年 10 月 30 日(火)> (構内) 所長他 10 名、運送業者 1 社 2 名

<想 定> 東海沖地震発生、緊急事態対応

<内 容> 避難 → 安全点検 → 消火器訓練 → 中和設備操作確認

<総 評> 製品受入れ中止手順を理解できました。



消火器操作



バルブ緊急遮断

<2012 年 9 月 14 日(金)> (構内) 支店長他 9 名、運送業者 1 社 3 名

<想 定> 塩酸小分け作業中熱中症で卒倒、液が漏洩、被液

<内 容> 卒倒 → 救援 → 連絡 → 患者の処置及び薬品の処理

<総 評> 少人数及び力量不足で的確な連絡等ができなかったため対策が必要と
思いました。



☆☆☆ 営業部門の環境貢献活動 ☆☆☆

7. 営業部門の環境貢献活動

化学分野における 3R 推進、環境配慮型の製品・技術の開発・普及に努め、
その取組については環境活動レポートで公表する。

また、PRTR 法該当化学物質については年間販売量の把握に努める。

当社は 3R (リデュース、リユース、リサイクル) 活動を推進しております。今回は再度太陽光発電パ
ネルについて紹介いたします。

また、PRTR 法(化管法)該当化学物質について説明いたします。

1. 太陽光発電パネル (電氣的に接続した複数の太陽電池を板状に並べた物)

1) 種類及び特徴

①結晶シリコン系 (単結晶・多結晶)

特徴：発電効率が-highい、一部の影により著しい電力低下が起る。

②薄膜系・シリコンアモルファス

・化合物系 (InGaAs・GaAs・CIS(CuInSe)等)

特徴：(化合物系) 発電効率は劣るが、影による電力低下を起こしにくい。

2) 当社の取扱い

①CIS系（ソーラーフロンティア(株) 製）を主に取り扱っております。

②CIS系太陽光パネルの詳しい特徴

<特徴>

A) 高温時の出力ロスが少ない

・パネル75℃でシリコン単結晶系より約5%良好

B) 一部の影による電力低下が起りにくい

・素子の起電圧が高く、パネル内素子は並列接続

C) 製造時出力より、稼動下で出力が上昇

D) モジュール出力保証20年

F) シリコン系に比べ設置面積を必要とする

【連絡先】 ご相談は本社・環境資材部まで：03-3245-1846

☆☆☆ 太陽光発電パネル ☆☆☆

施 工 実 績



【津田物流株式会社】

設置日：2012年1月

場 所：富士市

発電量：15kW

コメント：倉庫の屋根に設置



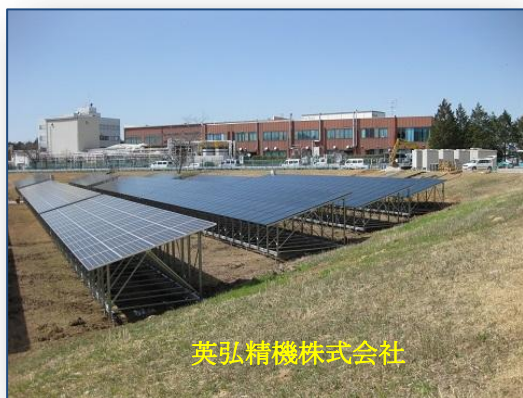
【近藤産業株式会社】

設置日：2013年2月

場 所：長岡市

発電量：250kW

コメント：50kW×5箇所



【英弘精機株式会社】

設置日：2013年3月

場 所：茨城県・阿見町

発電量：115kW/750kW

コメント：複数メーカーを導入し能力比較

☆ 太陽光発電パネル販売総容量 (2011年1月～2013年3月末)

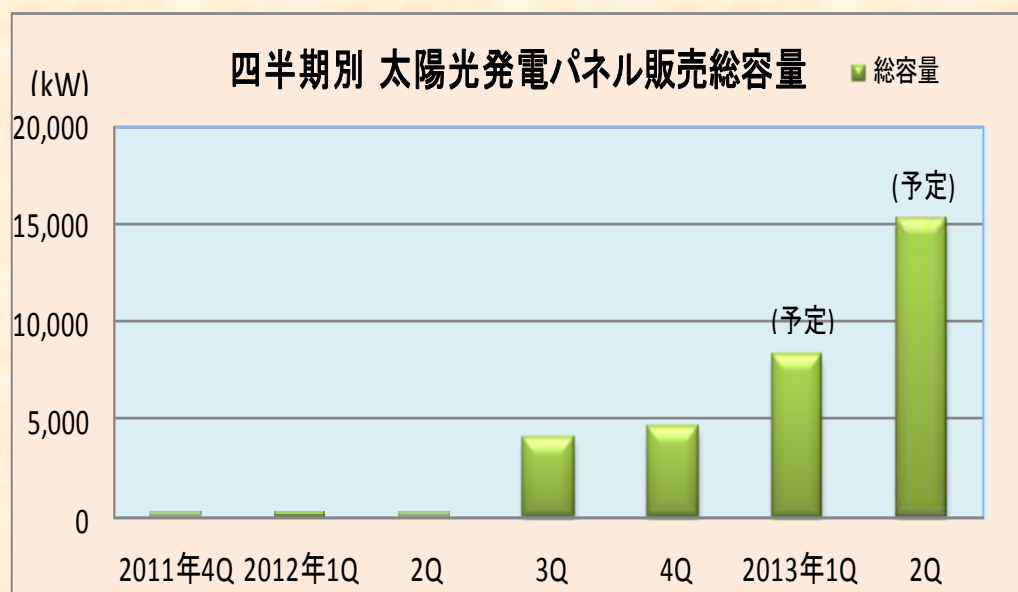
【増加要因】2012年度第3四半期より販売量が増加

- ① 国の買取制度の充実 ＊毎年変動あり
により導入社数の増加

「再生可能エネルギー特別措置法」(略称)

「電気事業者による再生可能エネルギー電気の調達に関する
特別措置法」(平成23年法律108号)

- ② 環境対策への理解の高まり



☆☆☆ PRTR 法該当化学物質について ☆☆☆

2012 年度「PRTR 法該当物質年間販売量について」

※ 2012 年度の**排出実績はありません**でした。

※ 2012 年度の**販売量**を把握しました。

・ PRTR 法：「特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律」（平成 11 年法律第 86 号）※化管法

・ 該当化学物質：第一種 462 物質、第二種 81 物質

* 「エコアクション 21 ガイドライン 2009 年版」による。

【結果】

- ・ 第一種指定化学物質：74 物質が該当（462 物質中）昨年と同数
- ・ 第二種指定化学物質：0 物質が該当（81 物質中）昨年より 1 物質減
- ・ 販売量：公表しておりません。

☆☆☆ 事業所ごとの環境保全活動紹介 ☆☆☆

8. 地域の環境保全活動への参加

事業所ごとに、地域環境活動に参加、協力や支援を行う。

- ・ 2012 年度もほぼ全ての事業所で清掃活動や植林等の環境保全活動を実施しました。

本社：「まちかどクリーンデー」
毎月 10 日



本社：「コミゼロクリーンデー」
2012 年 5 月 26 日



大阪：「大阪マラン(クリーン UP)作戦」2012
2012年11月20日



札幌：「セーフティ&クリーン大作戦」
2012年6月7日



仙台：「広瀬川1万人プロジェクト」
2012年4月21日



静岡：「田子の浦みなと祭り」他
2012年7月8日～



名古屋：「川と海のクリーン大作戦」
2012年11月4日



広島：「ゴミゼロ・クリーンウォーク」他
2012年6月3日～



高松：「中央通り一斉清掃」4回
2012年6月7日～



三島：「四国中央市クリーンデー」
2012年7月1日



福岡：「ラブアース・クリーンアップ 2012」他
2012年5月27日～



☆☆☆ 他の環境活動 ☆☆☆

全社：環境啓蒙活動の一環で「環境社会検定試験」の受験を推奨 *1)

*1) 「環境社会検定試験」(ECO検定)について

主催：東京商工会議所

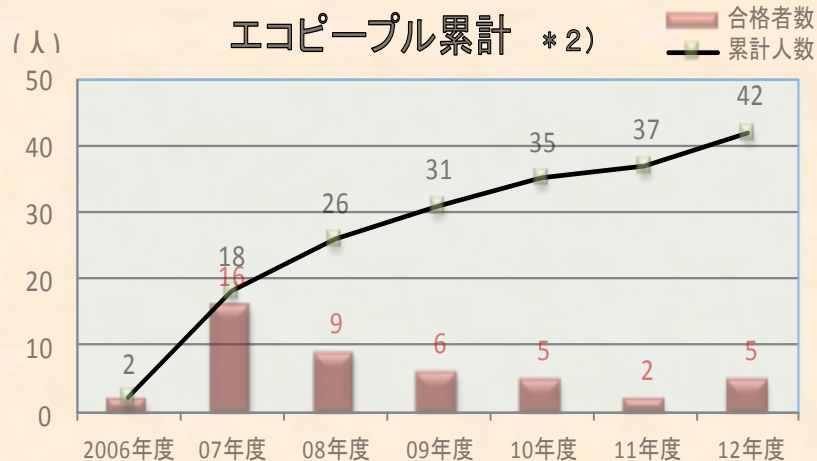
成り立ち：世界的な環境意識の高まりに対し、説明できる人材育成のため「環境教育の入門編」との位置付けで開始

第1回試験：2006年10月15日

2007年以降 年2回実施

*2) 「エコピープル」

「環境社会検定試験」合格者



※累計人数は累計合格者数から、その年度の有資格退職者の数を減じて出しています。

(2)環境関連法規等の遵守状況(最近3カ年)

「環境関連法規」については、毎年4月に「ecoBRAIN*2」で法律の改訂内容を確認し「法令遵守状況チェックリスト」を更新し、各部店は6月に遵守状況を確認しました。

【違反等】 違反行為、行政等からの指導、苦情及び訴訟は全くありませんでした。

【当社に該当する環境法令集】

法 令	目 的
<ケミカルセンター関係>	
[大気汚染防止法]	ばい煙の発生
[水質汚濁防止法]	有害物質の排出、浸透防止、漏洩事故時の報告
[廃棄物処理法]	廃棄物の処理
[労働安全衛生法]	役職員の健康と安全確保、化学物質の取扱い
[消防法]	建物防災、危険物の保管管理、消防活動阻害物質
[毒物劇物取締法]	毒物劇物の製造・保管管理、安全輸送
[海洋汚染防止法]	船受入時汚染防止、有害物質貯蔵設備の管理
<営業関係>	
[毒物劇物取締法]	毒物劇物の輸送・販売
[高压ガス保安法]	高压ガスの輸送・販売
[消防法]	危険物の輸送
[化管法] (PRTR 法)	SDS(安全情報表) の配布
[化審法]	新規物質の販売
<輸入関係>	
[毒物劇物取締法]	毒物劇物輸送時の安全・標記
[化審法]	一般化学物質の輸入数量の把握・報告
<総務関係>	
[労働安全衛生法]	役職員の健康と安全確保
[健康増進法]	事務所内分煙
<全社関係>	
[省エネルギー法]	エネルギー使用の効率化 (当社非該当)

【2012 年度登録簿への追加及び項目追加】

[労働安全衛生法・ボイラー及び圧力容器管理規則] を追加

[労働安全衛生法・労働安全衛生規則]「高所作業」項目を追加

[PRTR 法]「MSDS(化学物質安全情報表)」から「SDS(安全情報表)」へ変更

[消防法]「防火防災管理者」「消防活動阻害物質」項目を追加

【2012 年度登録簿から削除】

新たに削除した項目はありません。

*2:「ecoBRAIN」第一法規(株)の「ネット環境法令管理システム」

(3) 代表者による全体の評価と見直し

『実施体制』については、組織変更並びに人事異動に伴い体制を構築する。

『環境経営マニュアル』については、事業所規模と管理項目一覧表「別表1」の新事務所の規模（床面積）を見直しする。

4. 2013年度の環境目標と活動計画

《環境目標》

1. <二酸化炭素排出量削減>

- ・2013年度の全事業所の排出量を **3%削減**（2010年度比）
- ・中期目標（3ヵ年）は2013年度迄に **3%削減**（2010年度比）
- ・長期目標（10ヵ年）は2020年度迄に **10%削減**（2010年度比）

2. <紙使用量と再資源化>

- ・2013年度の全事業所の使用量を **3%削減**（2010年度比）

3. <廃棄物削減と分別回収>

- ・紙資源は種類ごとに計量しリサイクル原料にします。
- ・長期保存書類は、100%リサイクル原料にします。
- ・プラスチック類は計量し、可能なものはリサイクルに供します。

4. <節水と排水管理>

- ・賃借ビルでは、ビル管理会社と協力し節水に努めます。
- ・ケミカルセンターでは製品用と生活水を分けて把握管理をします。
- ・ケミカルセンターは、排水量を把握し、排水基準を遵守します。
- ・生活水と排水の使用量、排出量は原則前年を超えないとします。

5. <グリーン購入>

- ・印刷物、封筒等は環境配慮型製品を使用します。

6. <化学物質の管理>

- ・化学物質の取扱いは安全管理、環境保全に努めます。

7. <営業部門の環境貢献活動>

- ・3R（削減・再使用・再原料）の推進及び新エネルギー等の活用を積極的に提案します。
- ・環境配慮の製品・技術の開発・普及に努めます。
- ・取組み内容を環境活動レポートにて公表します。
- ・PRTR法該当化学物質の年間販売量を把握します。

8. <地域の環境保全動>

- ・事業所ごとに社会貢献活動などを通して、地域社会との共生に努めます。

《マニュアルの変更点》

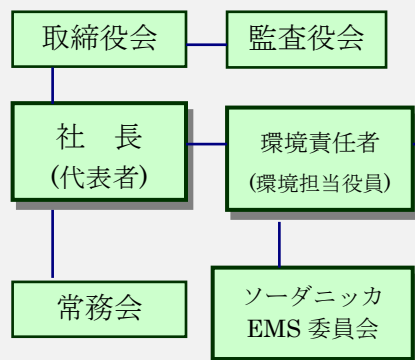
- ・ 人事異動に伴い、代表者、環境責任者及び事務局員、部門長、環境担当者エコリーダー、環境委員を変更。
- ・ 組織変更に伴い、東京環境委員会の部門を 9 部門→6 部門へ変更（詳細記載略）

5. おわりに

弊社の 2012 年度は、東北地方を除いて東日本大震災の影響がやっと抜けた年であると実感すると共に、太陽光発電を中心とした新エネルギー開発の始まりの年であったなど、太陽光発電パネルの販売数量のグラフの伸びを見て感じました。

ソーダニッカ㈱ 環境管理組織

2013年度 (2013年4月1日付)



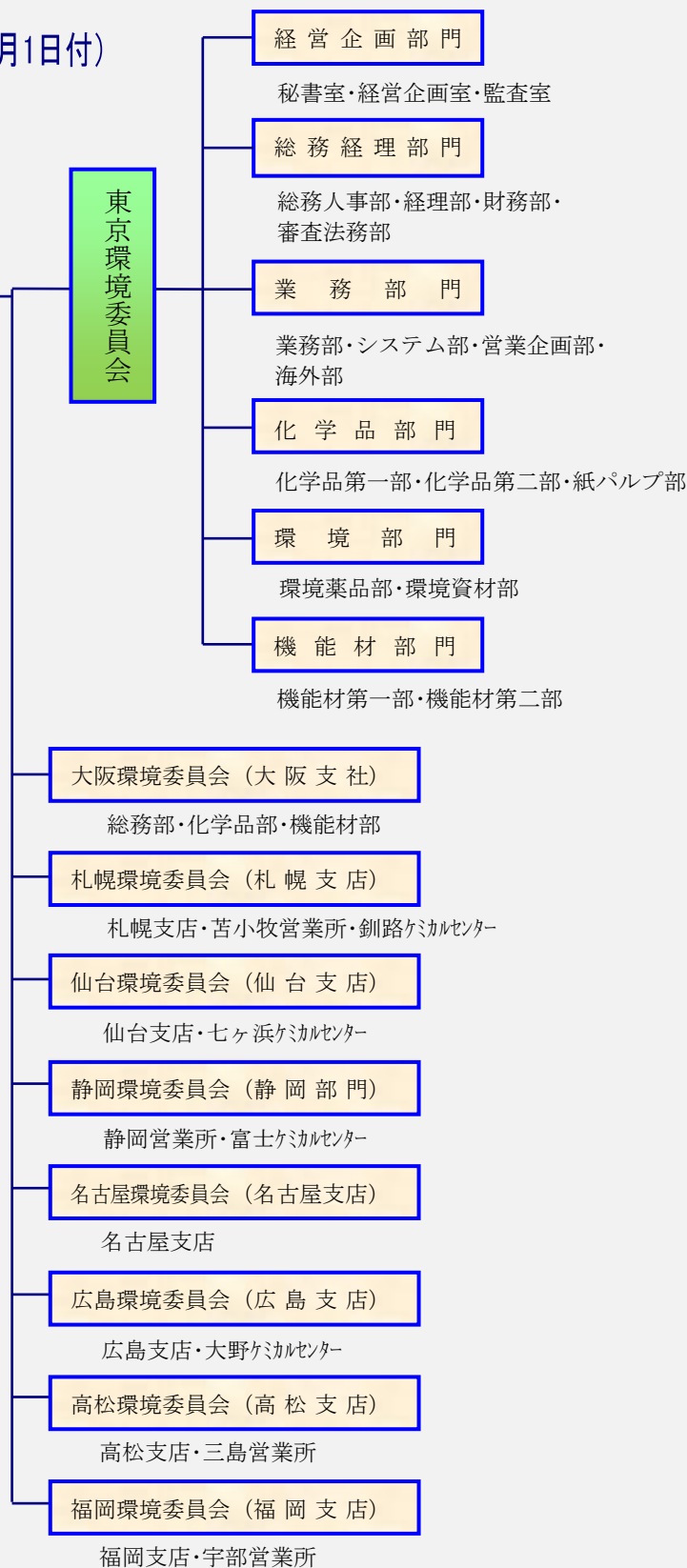
東京環境委員会は、本社6部門の集合体とし、各部門の目標及び本社全体の目標達成に向けて連携していく。

内部環境監査制度

所定の研修を受講し、試験に合格した者の中から社長に任命された監査員が担当する。

内部環境監査要領により各部門（支社、支店を含む14部門）ごとに年1回以上実施する。

監査員は、社長、環境責任者の直轄となっている。



編集後記

まず、今年の「環境活動レポート」の発行が大幅に遅れてしまったことを、お詫び申し上げます。

最近の環境に関する世の中の技術革新には目を見張るものがあります。太陽光発電に代表される再生可能エネルギーの普及、燃費の高いハイブリッド車の開発などがその代表だと思います。また一方では、特に 2011 年 3 月の震災を受けた、各家庭を中心とした節電意識の高まり、またリサイクル事業を中心とする「循環型社会」に対する関心の高まりも日常生活を通して感じるところです。

しかしながら、一方では社会貢献活動の一環として行っている東京都中央区の「まちかどクリーンデー」活動などにおいては、依然としてタバコの吸殻の多さに驚きを禁じえません。家庭を含む、組織の一員として取組む環境活動と個人レベルの環境活動において、本来違いは無いと思います。今一度、個人の日常の身の回りで行える環境活動についても見直したい、と考えています。

2013 年度の環境活動レポートは、通常的环境活動と共に、太陽光に関する取り組みについてご報告申し上げました。来年度以降においても、様々行っている環境活動に焦点を当て、より一層分かりやすいご報告ができるよう努力してまいりたいと思います。

Y.K.

環境活動レポート（2013 年度版）

発行 2013 年 11 月 1 日

ソーダニッカ株式会社 EMS 委員会

〒103-8322 東京都中央区日本橋 3-6-2 日本橋7フロント

電話：03-3245-1818 fax 03-3245-1869

URL：http://www.sodanikka.co.jp

E-mail：m-ebata@sodanikka.co.jp

人に、自然に、やさしい環境を
化学のチカラによって
明るい未来を創造します。

人に美しい自然を子供たちに
残すため、私たちは
人と環境との調和を
化学の多様性を駆使し、
チャレンジしてまいります。



ソーダニッカ株式会社

東京都中央区日本橋 3-6-2 TEL03-3245-1818

<http://www.sodanikka.co.jp>

この環境活動レポートは、再生紙を使用しています。